

概要

全教員が活用できる共通インフラとして学術論文等について独自性や引用に関する表記もれなどをオンライン上で既存の情報と照合することができる剽窃防止のためのソフトウェア（iThenticate）を平成26年7月に導入しました。

また、学位論文における不正行為を防止し、公正性を担保するため、学位論文審査において、本ソフトウェアを使用して、剽窃の有無を点検することが義務づけられています。

導入の背景

インターネットの普及により、世界中の様々な情報を入手することが可能となった現在、論文等の作成において、他者の研究成果を正当なルールに基づかず悪意を持って使用する盗用や剽窃が行われる危険性が増しています。

また、学位論文は学術情報リポジトリを用いて公表することになり、論文の内容がより広い範囲で簡便に読まれることとなりました。このことから、大学が所有する学位授与の権能の信頼性を維持するためには、学位論文の独創性については、これまで以上に留意されなければならない、本学における論文作成のルール等の教育は、特に研究指導の一環として、日常的に行われているものの、今後はより厳正な対応が必要となることから剽窃をチェックするソフトウェアを導入することとなりました。

もっと詳しく知るには

- ・学位論文等剽窃防止のためのソフトウェア（iThenticate）<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/Qdai-only/guide-system/ithenticate>

お問い合わせ先

学務部学務企画課教務・学務情報係 092-802-5935 内線:90-5935 gapkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp